



2024年11月28日

各 位

長野県北安曇郡白馬村大字北城 6329 番地 1
会社名 日本スキー場開発株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 鈴木 周平
(コード番号: 6040 東証グロース)
問合せ先 コンサルティング本部長 高梨 光
電話番号 0261-72-6040

子会社における設備投資に関するお知らせ

当社は、2024年11月28日付会社法第370条に基づく取締役会決議に替わる書面決議において、以下のとおり、当社子会社白馬観光開発株式会社の設備投資について決議しましたので、お知らせします。

記

1. 設備投資の目的

白馬八方尾根スキー場は、白馬観光開発株式会社（本社：長野県北安曇郡白馬村、代表取締役社長：松沢修、以下「白馬観光開発」）及び八方尾根開発株式会社（本社：長野県北安曇郡白馬村、代表取締役：丸山直樹、以下、「八方尾根開発」）の両社の経営資源・ノウハウを融合し二社協業で運営をしており、地域社会を活性化していく役割を担う存在であることを認識し、国際的山岳リゾートとして持続的な成長を成しえるために様々な取り組みを進めてまいりました。

両社は、2021年3月8日付「（開示事項の経過）子会社の経営統合に関する協議延長に関するお知らせ」のとおり、経営統合に関する協議を行ってきたなか、白馬八方尾根スキー場における下記の設備投資について、共同投資及び共同運営することを両社間で合意しました。

白馬八方尾根スキー場では、暖冬小雪に対応した継続的な降雪機投資をはじめとした小雪対策投資、国内外から注目されるパウダースノーエリアの整備・拡充、若年層に向けた誰でも楽しめるサーフライド&フリースタイルのスノーパークのオープンや、小学生及び未就学児のお子様を対象としたシーズン券が無料になる「NSDキッズプログラム」を継続するなど、ソフト・ハード両面で取り組んでまいります。

さらに今後において、HAKUBA VALLEYの中心に位置する白馬八方尾根スキー場は、同スキー場を世界で戦える国際競争力の高いマウンテンリゾートとすることを目指し、オールシーズン事業化の推進、顧客利便性や滞在環境の価値の向上のため、新ゴンドラリフト、ベースセンターハウス及び駐車場の設備投資を決定いたしました。

2. 設備投資の内容

会社名	建設 予定地	投資予定金額 (百万円) ※	資金調達 方法	設備の内容	投資・運営区分		着手及び完了予定年月	
					投資	運営	着手	完了
白馬観光開発(株)	白馬村	1,600 (ゴンドラリフトと 駐車場の総投資額 3,200)	自己資金及 び借入金	ゴンドラリフト	○	○	2024年 11月	2027年 12月
				駐車場	○	○		
				ベースセンター ハウス	-	○		

※ゴンドラリフトと駐車場の総投資額3,200百万円のうち白馬観光開発が1,600百万円を、ベースセンターハウスは八方尾根開発が単独で投資額を拠出する予定です。

3. 今後の見通し

本件は、2027 - 2028シーズンのオープンを予定しているため、当期（2025年7月期）の連結業績に与える影響は軽微であります。なお、当社グループのスキーリゾートはマーケットの変化・ニーズや気候変動等様々な外部環境を踏まえ、今後も将来に向けて、索道施設を含めたスキーリゾートの最適なりニューア
ルプランを策定し、地域の協力と共に実現に向けて取り組んでまいり所存でございます。

以上